

部分床義歯補綴学 I

責任者名：萩原 芳幸(歯科補綴学 II 教授)

学期：前期

対象学年：4 年

授業形式等：講義

◆担当教員

萩原 芳幸(歯科補綴学 II 教授)

月村 直樹(歯科補綴学 II 准教授)

大谷 賢二(歯科補綴学 II 専任講師)

大山 哲生(歯科補綴学 II 専任講師)

秋田 大輔(歯科補綴学 II 専任講師)

安田 裕康(歯科補綴学 II 助教)

◆一般目標 (GIO)

歯列の部分欠損に対する治療法の一つとして部分床義歯を選択するために、補綴治療としての臨床的意義と方法を理解する。

次に部分床義歯の製作方法について理解し、場合によって用いられる特殊な義歯やアタッチメントについても理解する。

◆到達目標 (SBO s)

- ・部分床義歯の設計原則を述べることができる。
- ・部分床義歯の治療過程において、診療室と技工室で行うことを列挙できる。
- ・部分床義歯に用いられる材料について説明できる。

◆評価方法

前期は定期試験 (50%) と 6 月 10 日に実施する平常試験 (30%) および毎回授業時に行う小テスト (20%) で評価する。各回の小テストのフィードバックについては、解説資料を配布する。平常試験のフィードバックについては、試験の次回の講義で行う。

◆オフィス・アワー

担当教員	対応時間・場所など	メールアドレス・連絡先	備考
萩原 芳幸	月曜日 17:00~18:00 歯科補綴第 II 講座教授室	hagiwara.yoshiyuki@nihon-u.ac.jp	
月村 直樹	火曜日 17:00~18:00 歯科補綴第 II 講座医局	tsukimura.naoki@nihon-u.ac.jp	
大谷 賢二	火曜日 17:00~18:00 歯科補綴第 II 講座医局	ootani.kenji@nihon-u.ac.jp	

大山 哲生	火曜日 17:00~18:00 歯科補綴第II講座医局	ohyama.tetsuo@nihon-u.ac.jp	
秋田 大輔	火曜日 17:00~18:00 歯科補綴第II講座医局	akita.daisuke10@nihon-u.ac.jp	
安田 裕康	火曜日 17:00~18:00 歯科補綴第II講座医局	yasuda.hiroyasu@nihon-u.ac.jp	

◆授業の方法

スライドを用いて授業を行う。講義後に小テストを毎回行う。

【実務経験】

萩原芳幸：日本大学歯学部付属歯科病院での30年以上に渡る経験等の話も交えながら、歯科臨床現場において本教科で学ぶ内容の理論や手技がいかに実際に活かされるかについて基礎全般を中心に教育したいと考えています。

月村直樹：現在、在職している日本大学歯学部付属歯科病院局部床義歯科での30年以上に渡る経験等の話も交えながら、歯科臨床現場において本教科で学ぶ内容の理論や手技がいかに実際に活かされるかについて基礎全般を中心に教育したいと考えています。

大谷賢二：現在、在職している日本大学歯学部付属歯科病院局部床義歯科での30年以上の経験等の話も交えながら、歯科臨床現場において本教科で学ぶ内容の理論や手技、特に部分床義歯の構成要素について教育したいと考えています。

大山哲生：現在、在職している日本大学歯学部付属歯科病院局部床義歯科での30年近くの経験等の話も交えながら、歯科臨床現場において本教科で学ぶ内容の理論や手技、特に咬合採得の重要性について教育したいと考えています。

秋田大輔：現在、在職している日本大学歯学部付属歯科病院局部床義歯科での経験等の話も交えながら、歯科臨床現場において本教科で学ぶ内容の理論や手技、特に個人トレーの製作や役割について理解させることを考えています。

安田裕康：現在、在職している日本大学歯学部付属歯科病院局部床義歯科での経験等の話も交えながら、歯科臨床現場において本教科で学ぶ内容の理論や手技、特に維持機構について理解させることを考えています。

◆教 材 (教科書、参考図書、プリント等)

種別	図書名	著者名	出版社名	発行年
教科書	スタンダードパーシャルデンチャー補綴学	藍 稔, 五十嵐順正 編集	学建書院	2016
配布プリント				
参考書	最新歯科技工士教本 有床義歯技工学	全国歯科技工士教育協議会	医歯薬出版	2018
参考書	パーシャルデンチャー技術	五十嵐順正, 石上友彦, 大久保力廣, 岡	医歯薬出版	2013

		崎定司, 馬場一美, 横山敏郎		
--	--	--------------------	--	--

◆DP・CP

コンピテンス 4：歯科医学および関連領域の知識学習アウトカム

コンピテンシー：4-4, 4-5, 4-6, 4-8

対応するディプロマ・ポリシー：DP1, DP4, DP5

コンピテンス 5：医療の実践

コンピテンシー：5-2, 5-3, 5-4,

対応するディプロマ・ポリシー：DP1, DP4, DP5

◆準備学習(予習・復習)

予習としては、必ず事前に教科書を読んで、授業内容の目的を理解しておくこと。毎回フィードバックとして、小テストの結果についての解説資料を配布するので、その内容を各自復習して理解度を深める。

◆準備学習時間

各々授業時間の2倍相当の時間を充てて予習と復習を行うこと。

◆全学年を通しての関連教科

4年生前期総義歯補綴学Ⅰ, 後期総義歯補綴学Ⅱ, 4年生前期架橋義歯補綴学, 4年生後期固定性義歯補綴学, 4年生後期顎機能分析学, 4年生後期顎機能治療学, 4年生後期顎機能分析演習

◆予定表

回	クラス	月日	時限	学習項目	学修到達目標	担当	コアカリキュラム
1		4.4	3	1. 歯の欠損（原因、欠損による生体、機能の変化） (教)pp.1-11 (教)pp.13-30 授業後的小テスト	・欠損の原因を知り、それに伴う口腔内の形態的変化を述べることができる。さらに、頭頸部への影響も説明できる。 ・形態的変化がもたらす下顎運動への影響および心理的影響についても述べることができる。 ・歯の欠損に関する治療方法の種類を説明できる。	萩原 芳幸 安田 裕康	E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯）①歯の欠損、顎骨・顔面の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。
2		4.4	5	2. 欠損歯列再建の意義（部分床義歯の目的） (教)pp.4-10 授業後的小テスト	・部分床義歯の目的と意義を理解し、その適応症について述べることができる。 ・部分床義歯の問題点についても理解し、生体機能について説明できる。	安田 裕康	E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯）③可撤性義歯の特徴と適応症

							を説明できる。
3	4.4	6	3. 部分床義歯の構成要素 (教)pp.39-42 授業後的小テスト	・部分床義歯の構造を説明できる。 ・種々の構成要素を学び、適応症を列挙できる。 ・構成要素の役割や特徴を学び、それぞれの要件について説明できる。	大谷 賢二	E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯）④ 可撤性義歯の要素構成と支持、把持、維持の機構を説明できる。	
4	4.4	7	4. 概形印象、研究用模型および設計 (教)pp.123-148 授業後的小テスト	・概形印象の採得法を説明できる。 ・義歯製作にあたり診査・診断から研究用模型で知るべき事を説明できる。 ・義歯の設計とサベイングの重要性を説明できる。	安田 裕康	E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯）⑫ 可撤性義歯の製作過程を説明できる。	
5	4.11	3	5. サベヤーの特徴および使用法 (教)pp.142-147 授業後的小テスト	・サベヤーの目的と使用法について述べることができる。 サベヤーの付属品の名称と使用法を理解し、サベイングを説明できる。	安田 裕康	E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯）⑥ 可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 ⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。	
6	4.18	3	6. 部分床義歯の機能的要件 (教)pp.43-48 授業後的小テスト	・生体の負担能力について説明できる。 ・義歯設計の3大原則および一般的な原則について説明できる。	月村 直樹	E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯）⑥	

						可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 ⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。
7	4.25	3	7. 歯の欠損様式と分類と部分床義歯製作の手順 (教)pp.31－35 授業後的小テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・欠損部の分布状態による分類 (Kennedy) や咬合支持域による分類 (Eichner) 等を理解し、その活用法を列挙できる。 ・部分床義歯製作のための臨床的手順を述べることができる。 ・診査・診断から義歯装着までの流れを治療室と技工室での内容を説明できる。 	大山 哲生	E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯）③可撤性義歯の特徴と適応症を説明できる。
8	5.9	3	8. 個人トレー、印象材の種類と印象法 (教)pp.124－130 授業後的小テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・個人トレーの利点および製作法を述べることができる。 ・個人トレーを用いた印象採得法を列挙できる。 ・印象材の種類と特徴を説明できる。 	秋田 大輔	E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯）⑤可撤性義歯の設計原則を説明できる。
9	5.16	3	9. 作業用模型およびオルタードキャスト法 (教)pp.121－122, 128 授業後的小テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・部分床義歯を製作するための作業用模型の製作法を述べることができる。 ・オルタードキャスト法の術式を学び、その目的要件を説明できる。 	大山 哲生	E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯）⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を

							説明できる。
10	5.23	3	10. インフォームドコンセントおよび前処置 (教)pp.110-122 授業後的小テスト	・義歯の設計に促した支台歯および残存歯の前処置法を列挙できる。 ・義歯の機能と目的を確認し限界も説明できる。	月村 直樹		
11	5.30	3	11. 咬合採得法 (教)pp.151-166 授業後的小テスト	・咬合採得に必要な下顎位の知識、顎間関係の記録法について列挙できる。 ・生体で記録した顎関節に対する上顎歯列弓の位置関係を、上顎歯列模型を用いて咬合器上に再現するための方法を述べることができる。 ・生体の下顎運動路記録の意義、記録法および咬合器の調節法などについて説明できる。	大山 哲生	E-3-4)-(2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯)④ 可撤性義歯の要素構成と支持、把持、維持の機構を説明できる。	
12	6.6	3	12. 部分床義歯の支持機構 (教)pp.49-53 授業後的小テスト	・義歯の支持様式を理解し、生体との調和を述べることができる。 ・粘膜と歯根膜の支持機構を理解し、生体機能を保持するための義歯の役割を説明できる。	萩原 芳幸	E-3-4)-(2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯)④ 可撤性義歯の要素構成と支持、把持、維持の機構を説明できる。	
	6.10	4	平常試験 ※土曜日	・今までの授業の範囲について理解して説明ができる。	萩原 芳幸	E-3-4)-(2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯)② 可撤性義歯の種類、目的及び意義を説明できる。	
13	6.13	3	13.平常試験の解説	・今までの授業の範囲について理解して説明ができる。	大山 哲生	E-3-4)-(2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯)②	

						可撤性義歯の種類、目的及び意義を説明できる。
14	6.20	3	14. 部分床義歯の把持機構 (教)pp.53-55 授業後的小テスト	・義歯の構成要素の物理的特徴を理解し、把持作用を述べることができる。 ・欠損歯列を修復し、生体機能を保持するための義歯の役割を説明できる。	大谷 賢二	E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯）④可撤性義歯の要素構成と支持、把持、維持の機構を説明できる。
15	6.27	3	15. 部分床義歯の維持機構（クラスプの特徴） (教)pp.55-74 授業後的小テスト	・直接、間接支台装置の機構を述べることができる。 ・クラスプの形態や機能を説明できる。 ・クラスプの分類や種類を学び、それぞれの適応症を述べることができる。 ・クラスプの長所や短所を説明できる。	安田 裕康	E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯）④可撤性義歯の要素構成と支持、把持、維持の機構を説明できる。

担当グループ一覧表

グループ名	教員コード	教員名
補綴II	1006	萩原 芳幸
	1195	大谷 賢二
	1206	月村 直樹
	1239	大山 哲生
	2696	秋田 大輔
	2969	安田 裕康

